

韓国大統領選後の日韓関係 歴史清算をどう進めるか

日時	2017年7月30日（日） 午前9時半～12時		
会場	北とびあ 807号室 交通機関：京浜東北線「王子」駅徒歩2分、東京メトロ南北線「王子」 駅5番出口直結		
参加費	2日券 一般	2000円	その他 1200円
	1日券 一般	1200円	その他 800円

5月9日の韓国大統領選で革新系の文在寅（ムン・ジェイン）氏が当選しました。新しい国づくりを託された文大統領は、過去史清算を進めた盧武鉉元大統領時代に側近として活躍しました。

1965年の日韓国交正常化は植民地支配の清算を切り捨て、日本の経済協力を背景に財閥がのしあがる一方で、被害者は置き去りにされました。一昨年12月28日に安倍首相と朴前大統領との間で被害者の頭越しに結んだ「慰安婦合意」は韓国民の大多数が支持していません。もはや被害者を置き去りにした歴史清算は解決につながらないばかりか、不信感を増幅させるだけです。

韓国から大統領選後の日韓関係について最新情報を報告していただき、歴史清算をどう進めるか、考えます。

分科会実行委員会 事務局
日本製鉄元徴用工裁判を支援する会
担当：山本（090-9204-7607）
矢野（090-2466-5184）

プログラム

- ・基調報告
- ・特別報告
「韓国大統領選後の日韓関係 - 歴史清算をどう進めるか」
報告者（交渉中）：張完翼弁護士（韓国・太平洋戦争被害者補償推進協議会共同代表）
- ・日本における歴史清算の取り組み報告（慰安婦問題、遺骨返還、靖国合祀取消、強制労働、植民地歴史館建設、等）

